

2026年1月20日  
株式会社 FUNDINNO

---

【日本初、J-Ships利用企業が東証グロース市場へ上場承認】  
FUNDINNO支援から14か月のスピードIPOで「未上場株式のエコシステム」に貢献

---

株式会社FUNDINNO(本社:東京都港区、代表:柴原 祐喜／大浦 学、第一種金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2957号、以下「当社」)は、イノバセル株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役Co-CEO:ノビック・コーリン(Colin Lee Novick)／シーガー・ジェイソン(Jason David Sieger)、以下「イノバセル」)が、昨日、株式会社東京証券取引所より東京証券取引所グロース市場への新規上場を承認されましたことをお知らせいたします。

なお、特定投資家向け銘柄制度(J-Ships)を利用した企業の東京証券取引所への上場承認は日本初となり、資金調達支援から14か月での事例となります。また、当社の支援先企業についてグロース市場への上場承認がなされるのは、今回が初めてとなります。

innovacell

 FUNDINNO

■ 本件の意義と背景

イノバセルは、2024年12月※に当社の特定投資家向け銘柄制度「FUNDINNO PLUS+」を活用し、エンジエル投資家や事業会社から資金調達を実施いたしました。

※イノバセル株式会社、FUNDINNO PLUS+で約1ヶ月で約10.6億円を資金調達  
<https://prttimes.jp/main/html/rd/p/000000261.000021941.html>

当社は「フェアに挑戦できる、未来を創る。」というミッションのもと、未上場企業の資金調達支援およびSaaSを通じた株主管理支援を行い、流通取引総額(GMV)拡大に向けた成長戦略の具体化を推進して参りました。今回のイノバセルの上場承認は、「FUNDINNO PLUS+」を通じた特定投資家からの資金調達が、企業のさらなる成長とIPOという出口戦略に直結することを示す重要な事例となります。



#### ■ 株式会社FUNDINNOについて

当社のプラットフォームは、未上場株式市場へ個人がアクセスできる仕組みを実装し、次世代産業の成長に不可欠なリスクマネー供給の拡大に取り組んでいます。



## フェアに挑戦できる、未来を創る。

私たちはこの10年間、

未上場企業にとっては荒野である我が国で、未上場株式の民主化に挑み続けてきました。

約250人の株主とたくさんの仲間たちの情熱と共に。

一部のプロだけが行っていた未上場株式への投資の門戸を開き、

誰もが未来の成長企業を応援できる仕組みを創るために。

本日から、FUNDINNOの新しい挑戦が始まります。



**FUNDINNO** 2025年12月5日  
東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。

#### <株式会社FUNDINNO>

所在地: 東京都港区芝五丁目29番11号

代表取締役: 柴原 祐喜／大浦 学

資本金及び資本準備金の合計額: 99億8,847万円 ※2025年10月31日現在

設立: 2015年11月26日

第一種金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第2957号

加入協会: 日本証券業協会

URL: <https://corp.fundinno.com>

提供サービス:

FUNDINNO、FUNDINNO PLUS+、FUNDOOR、FUNDINNO GROWTH、FUNDINNO MARKET、FUNDINNO MARKET PLUS+

#### <手数料等及びリスク情報について>

当社のサービスにおける取扱商品の手数料及びリスク等は、当社のホームページで表示しております「重要事項説明書(<https://fundinno.com/disclosure>)」の内容と、プロジェクト毎の契約締結前交付書面の内容をご確認ください。投資にあたっては、お客様ご自身でご判断いただきますようお願いいたします。

ご注意: 本報道発表文は、当社のサービスや実績を一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。